

「(仮称)子どもを守る都市宣言」に係る子どもへのアンケート項目(案) 【子ども用】

No.	ジャンル	設問	回答方法	選択肢	狙い
1	属性	あなたの「年齢」を教えてください。	自由記述		属性把握のため
2		あなたの「性別」を教えてください。	選択	1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない	性別によって子どもの権利や体罰等への考え方の傾向が異なることが想定されるため。
3	「子どもの権利」について	「子どもの権利」を知っていますか?	選択	1. 内容までよく知っている 2. 内容について少し知っている 3. 内容は知らないが聞いたことがある 4. 聞いたことがない	「子どもの権利」の認知度を把握するため
-		「子どもの権利」の概要説明		「子どもの権利」とは	「子どもの権利」について、改めて、理解を深めた上で以降の設問に回答させるため(特に知らない子向け)
4		「子どもの権利」に当てはまると思うことをすべて選んでください。	複数選択	<ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが生まれた時から権利を持っている 性別や人種の違いなどで差別されず、すべての子どもが同じ権利を持つ 誰からも暴力(たたかれる、傷つけられるなど)を受けない(虐待、いじめ等) 学校で学ぶことができる 病院に行くことができる 遊んだり休憩したりすることができる 子どもは自由に自分の意見を表明し、大人に聞いてもらえる 	身近な事柄について、自分たちの権利であると認識することで、以下のアンケートにつき、権利の当事者としての率直な回答が期待できるため
-		【コラム】 子どもはみんな権利を持っています。しかし、権利の使い方によっては、誰かを傷つけてしまうかもしれません。 (例) Aさんには意見を表明する権利がある →その意見は、Bさんを傷つける内容 →Bさんの「誰からも傷つけられない権利」を害するため、Aさんがそのような意見を表明することは正しくない			権利の行使には責任が伴うことを認識してもらい、権利の濫用につながらないようにするため
5	子どもの権利の侵害(体罰等の実態)	しつけのために、おうちの大人の人が、子どもに次のようなことをすることについて、どのように考えますか。			守るべき対象である子どもが、体罰等にどのような考えをしているか把握し、大人への調査結果と比較するため
-1		殴る・手加減せずたたく・蹴る		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
-2		怒鳴りつける		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
-3		お尻をたたく		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
-4		「だめな子だ」などと言う		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
-5		にらみつける		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
-6		無視する		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
-7		ごはんを食べさせない		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
-8		ベランダなどに閉じ込める		1. 必要があればやっていい 2. ほかに方法がないと思ったときだけやっていい 3. 絶対にやってはだめ	
6	子どもの困り感	あなたが「悩んでいること」、「意見として大人に伝えたいこと」はなんですか。	複数選択(3つまで)	<ul style="list-style-type: none"> 授業など勉強のこと 進学や受験、就職のこと 学校などの先生のこと 部活動のこと 校則のこと 親・保護者のこと 親・保護者以外の家族のこと 家族以外の人間関係(友達・恋愛関係など) 自分のアイデンティティ(自分らしさ、周囲と違うと思うところ)のこと 自分の健康や病気のこと (あなた、家族、友達などの)障がいのこと 放課後や休日のこと(塾や習い事など学校外での学びや遊びを含む) インターネットやSNSを使うときのこと アルバイトや仕事のこと お金のこと いじめ 差別 新型コロナウイルス感染症 気候変動や環境問題 その他【自由記述】 わからない 特になし 	実際に子どもがどのようなことについて困っているのか、心配しているのかを把握し、周囲の大人からの円滑な支援につなげるため
7	子どもの権利に	以下の項目で、あなたに当てはまるものはありますか。当てはまるものを、すべて選んで下さい。	複数選択	<ol style="list-style-type: none"> 十分な量の食事がとれていない 毎日、風呂や着替えなどができていない 家の手伝いなどで、勉強や遊びの時間がとれないことがある 大人や友達から、たたかれたり、嫌なことを言われたりしている 大人に助けを求めたときに、助けってもらえなかったことがある あてはまるものはない 	「児童の権利に関する条約」における4つの柱のうち、生きる権利、育つ権利、守られる権利に係る実態を把握するため

8	子どもの権利に関する実態	あなたは、身近な大人に、自分の「悩み」を言いやすいと思いますか。 ※ 大人：親・保護者、学校の先生、祖母や親戚、近所の人 など	選択	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない	
9		あなたは、身近な大人に、自分の「意見」を自由に言いやすいと思いますか。 ※ 大人：親・保護者、学校の先生、祖母や親戚、近所の人 など	選択	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない	「児童の権利に関する条約」における4つの柱のうち、参加する権利に係る実態を把握するため
10	夢や希望、将来になりたい大人像	あなたの「夢」や「希望」について、あなたの周りの大人に反対されたことはありませんか。	選択	1. ある 2. ない	子どもの意向を頭ごなしに否定せず、個人としての人格を尊重した対応がなされているか把握するため
11		上記の問で「ある」と答えた方に伺います。大人に反対された理由を具体的に説明してもらえましたか。	選択	1. 説明してもらえた 2. 説明してもらえなかった	
12		上記の問で「説明してもらえた」と答えたかに伺います。その説明を聞いてあなたは納得できましたか。	選択	1. 納得できた 2. 納得できなかった	
13		あなたは将来どんな大人になりたいですか。	複数選択 (3つまで)	<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの友達や仲間がいる大人 ・ 自分らしさをもっている大人 ・ 人を思いやる心を持っている大人 ・ 困難を乗り越えられる大人 ・ 常に努力を惜しまない大人 ・ 健康で体力に自信がある大人 ・ 社会のルールやマナーを守る大人 ・ 専門的なことをくわしく知っていたり、上手にできる大人 ・ 正しいことや決められたことを最後までやりとげる大人 ・ 社会の役に立てる大人 ・ 海外で活躍できる大人 ・ 地元で活躍できる大人 ・ いつも新しいことに取り組んでいる大人 ・ リーダーシップのとれる大人 ・ わからない ・ その他【自由記述】 	子どもたちが描く理想の大人像を把握することで、周囲の大人たちのあるべき姿や子どもとの関わり方を把握するため ※市長の意向
14	周りの大人にしてほしいこと	あなたがあなたの周りの大人にしてほしいことは何ですか。	複数選択 (3つまで)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のよいところやがんばったことを認めてほしい ・ 自分の意見を聞いてほしい ・ 困ったときに助けてほしい ・ あまり口出しせず、見守っていてほしい ・ 尊敬できる人でいてほしい ・ その他【自由記述】 	地域社会全体で子どもを守り・育てるために周囲の大人がどのように子どもたちに対応すべきか把握するため ※市長の意向